

# 市民オンブズマンわかやま

ニュース NO99

発行責任者 畑中 正好 発行日 2013年7月16日  
連絡先 和歌山市十二番丁10番地 和歌山合同法律事務所内  
TEL 073-433-2241 FAX 073-433-2767  
http://www.naxnet.or.jp/~wa\_obz/ Eメール wa\_obz@naxnet.or.jp

## 和歌山市の包括外部監査結果

### 編集部座談会

## 道路整備計画 未整備率43・6%

### 整備実現年数 | 約267年と試算

### 「実現に現実味ない」と指摘

暑中お見舞い申し上げます。  
今年も、酷暑が続いておりますが、お変わりございませんか。  
今回の編集部座談会は、和歌山市の包括外部監査人・和中修二（公認会計士）氏が行った包括外部監査の結果が注目に値しましたので取り上げました。

求を行い追及に及んだことが2度もありますから。

阪谷 注目に値する指摘があったのですか。

畑中 そうです。今年公表された平成24年度の和歌山市の外部監査に。

井上 久々ですね、和歌山市の登場。

阪谷 で、それは。

畑中 都市計画道路と道路事業の入札に関することです。違法性の指摘にまでは及んでいませんが、指摘が注目に値しました。

井上 ほうー。それは楽しみですね。

畑中 そうです。平成24年3月の整備計画が対象ですが、計画

迫問 50年弱未着手の事業計画があると言います。

畑中 計画の未整備率が43・6%であるところ、包括外部監査人は、現行の都市計画道路の整備計画に、計画決定後50年弱未着手の整備計画が含まれている、とし、かつ、計画道路の整備実現年数が267

・2年要すると試算、整備計画実現に現実味はないと指摘しています。

阪谷 7月の初めに梅雨

雨が明けて、とても厳しい暑さがつづいて

いますが、みなさんお変わりございませんか。読者のみなさんにも暑中お見舞い申し上げます。

井上 めちゃくちゃ暑くて

迫問 十分な暑さ対策、

重要ですね。

阪谷 さて、今回のテーマは、何にしました

畑中 包括外部監査の結果が毎年3月の年度末に公表されます。

迫問 注目していますね。いつも。

畑中 はい、それを端緒にして住民監査請



# 50年弱未着手事業

## 46路線中8路線

46路線に対し、8路線が未着手です。

井上 ちようと待って下さい。それで、どうして50年弱も未着手と言えるのですか。

畑中 それは、計画決定された当初の年月日ははじまりであり、着手されず計画のみが引き継がれてきているからです。

8路線のうち、1路線が昭和24年2月27日、それ以外の7路線が昭和40年1月28日に計画決定されています。だから、50年弱未着というのはそのとおりなので

す。

井上 なるほど。

阪谷 約50年前に決定した計画が、着手されず、計画だけが引

き継がれていると

迫間 そのような計画は、そもそも、必要性がないと考えられませんか。時代も変

### 計画の見直し

### 「速やかに行うよう望む」とされる

阪谷 約50年も未着手の計画は、早期に見直すべきです。

井上 そうですよ。

畑中 その点、和中部括外部監査人も「速やかに見直しを行うことが望まれる」と

井上 和歌山市の対応は、分かりますか。

化しているし。

井上 私には信じられませんが。約50年前の計画がそのまま引き継がれていること自体が。



手していると言っているようです。

阪谷 しかし、実際の見直し作業は進んでいないと。

畑中 そのようです。

だから包括外部監査が、市は「見直し作業に着手しているもの、関係機関との合意形成に時間を要しており、パブリックコメントを得られるような見直し原案を現状提示できる状況にはない」として、先ほどの指摘を行っているのです。

迫間 なるほど、実際の見直し作業が進んでいないから、速やかな見直しを求めているのですね。

畑中 と思われれます。

それに、国交省や県も見直しの必要性を提起していますが、国交省は、平成18年

11月に提起しています。

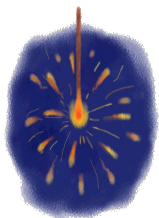
迫間 それからでも5年は超えていますね。

井上 国や県が言わなければ、見直さないのも、行政の姿勢としては問題です。

畑中 また、都市計画区域には、建築制限が働き、未着手の期間が長くなると、長期間地権者の土地有効活用が難しくなるなど、市民の生活設計にも過重な影響を与えますから、見直しは急ぐべきです。

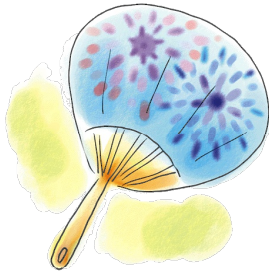
阪谷 約50年間も未着手だから、よけいにしてしよう。

畑中 もちろん。



# 道路建設の入札

## 落札率20件中6件が90%以上



畑中 次に、道路建設の入札についてです。外部監査人は、「一般競争入札参加基準表における地区割り」が依然として存在しており、今後の業者数

の変化によつては公平性が確保されないおそれもあるため、更なる改革に向けた検討が必要であると考える」としています。

井上 そうなんだ。地区割りが依然として存在しているのですか。それは問題でしょうか。

畑中 問題があるから、外部監査人も「公平性が確保されないおそれもある」として

### 和歌山大学前駅前広場関連工事

## 特定の事業者に集中

阪谷 私達も、地区割り談合の温床になつていると指摘してききましたから。これは見過ごすことができませんね。

迫間 どのような地区割りになつていのか、それが分かりませんか。

畑中 それは、監査結果

けして区域内の業者に限定すれば、どの業者が入札に参加するのか、すぐに分かりません。行政は、談合して下さいと言つて

ているようなものではないですか。

畑中 行政の努めは、そもそも、談合が行われて

ですね。

畑中 入札業者を区割り地区内の業者に限定していることは、そういうことが言えます。

井上 地域割りについて

て包括外部監査人は、

畑中 外部監査人は、地域割りについて、「過保護にならないよう随時見直しを

場合によつては、「撤廃も考慮にいれて競争性のある入札手続が実施されるように留意するべきである」としています。

阪谷 落札率などの調査は行っていないのですか。

畑中 行っています。平成23年度の500万円超えの工事や委託事業の20件を抽出

し、落札率などの検証も

行っています。それによれば、1件は入札不成立で随契になり19件、その内、落札率100%が1件、同90%以上が5件、85%以上90%未満が1件、80%以上85%未満が5件、80%未満が7件という状況です。

阪谷 その状況だと、90%以上が19件中6件と言つことになりませんが、この件数は多いと言つべきです。井上 そうですよ。

畑中 私も多いと思います。談合防止策が機能していない証拠と見る必要があります。迫間 包括外部監査人の指摘は、

畑中 最低制限価格の落札が11件と大半を占めているものの、

井上 一般競争入札であったとしても、そのような地域に区分

けして区域の業者

の

の

果の報告書に、詳しく載っています。土木工

事の規模によつて、市内を4地域あるいは3地域に区割り

していることが分かり

ます。

阪谷 そう言う視点から

言

りして

歌山市政は、談合防止に消極的であると

判断せざるを得ない

と

か

り

と

を

あ

ら

の

を

あ

ら

の

を

あ

ら

の

を

あ

ら

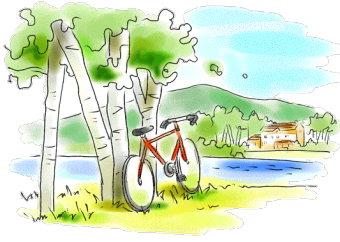
の

を

# 橋の架替工事も

## 特定の事業者に集中

90%以上が5件と少なく、雄ノ浦橋、養翠橋、北橋架替工事や和歌山大学前駅駅前広場関連事業では一部の業者に集中して落札されている傾向が見受けられるとし、地区割りによりに入札者を一部に限定していることから、談合の可能性はない



井上 一部の業者に集中して落札されていることに関する説明を少し詳しく。  
畑中 19件を落札事業者数で見ると13業者です。そのうち落札件数1件の業者が10業者です。2件が1業者、3件が1業者、4件が1業者です。4件を落札した1業者の4件の工事は、いずれも和歌山大学前駅駅前広場関係工事です。  
阪谷 とすると、3件

を落札した1業者の3件の工事は、橋架替関係工事と言うことですか。  
畑中 そうです。  
井上 なるほど。関連事業が一部の業者に集中していることが明白ですね。

濃厚じゃないですか。井上 可能性はないとは言いがたい、というようなレベルではないですよ、それは。阪谷 注目すべき指摘は、以上ですか。畑中 いいえ、契約金額の増加変更についても指摘しています。畑中 それに、和歌山大学前駅駅前広場関連工事4件の平均落札率が89・67%で

### 増加変更契約

### 常態化している疑い濃厚

あり、橋架替関連工事3件の落札率が99・89%です。一方、落札件数1件の10業者の平均落札率は77・21%です。  
迫間 その2業者の落札は、談合の疑いが

迫間 それは異常ですよ。増加変更契約の割合が3分2を超えていますから、増加変更契約が常態化しているという疑うにたる証拠ですよ、それは。阪谷 増加変更契約の乱発は、一般競争入札を形骸化させることになり、重大な問題です。畑中 おっしゃるとおりです。それに、増加率30%を超える工事もあるようですよ。

中15件、とりわけ、委託業務では、7件中5件が増加の変更契約をしているというのです。  
井上 小さく産んで大きく育てる、という話ですか。

築工事」と「和歌山大学前駅駅前広場シエルトー他設置工事」の2件です。この駅前広場の方は増加率30%を超えています。井上 和歌山大学前駅駅前広場関係工事がよく出てきますが、市民の目線でも調べてみる必要性を感じます。  
阪谷 これらからすれば、和歌山市への監視活動を強化する必要があるそうですね。畑中 ええ。そのよう





お気張りやすオンブズマン

ようこそ京都におこしやす

## 第20回 全国市民オンブズマン 京都大会

「このままやったら、  
あきまへんどすなあ議員さん」

9月7日(土)～9月8日(日)2日間

会場 龍谷大学 深草学舎3号館

TEL:075-642-1111 FAX:075-642-8867

〒612-8577京都市伏見区深草塚本町67(京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分)

全国の市民オンブズマンの皆様、  
今年で20回を迎える「全国市民オンブズマン  
大会」の開催地は「千年の都」京都です。  
実行委員一同、心をこめて皆さまをお迎えする  
準備を進めています。

参加をご希望される方は事務局までご連絡下さい。

連絡先 電話073-433-2241 畑中正好



### 大会スケジュール(案)

9月7日(土)		9月8日(日)	
13:00	開会	09:30～10:00	分科会報告
13:05～13:15	実行委員会挨拶+基調報告	10:00～11:00	秘密保全法の概要と情報公開訴訟報告
13:15～13:30	政務活動費改正調査報告		全国オンブズマン20年の活動の アセスメントセス各地報告
13:30～14:30	「議員通信簿」報告(京都+各地)		
14:50～15:50	議会改革シンポジウム		
15:50～16:10	包括外部監査 表彰+活用法報告	11:00～12:10	各種調査報告
16:30～18:00	分科会(1)議会 (2)包括外部監査 (3)「なんでも活動交流」(4)警察	12:10～12:30	大会宣言、決議
18:20～20:00	懇親会		

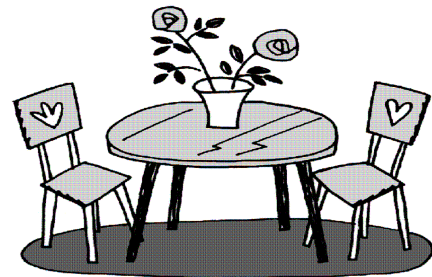
## 当面の予定

- 7月16日 PM 4:00 ~  
ニュース発送作業日
- 7月24日 PM 6:00 ~  
第2回全員会議
- 7月25日 PM 2:10 ~  
県議政務調査費違法支出金返還請求住民訴訟の裁判(大阪高裁)
- 8月26日 PM 4:00 ~  
編集会議
- 9月3日 AM 10:30 ~  
県議政務調査費違法支出金返還請求住民訴訟の裁判(大阪高裁)
- 9月7日 ~ 8日  
全国大会(京都において)
- 9月17日 PM 4:00 ~  
ニュース発送作業日
- 9月25日 PM 6:00 ~  
第3回全員会議
- 9月27日 AM 10:30 ~  
県議政務調査費違法支出金返還請求住民訴訟の裁判(和歌山地裁)

## 裁判情報

### 県議・政務調査費違法支出金返還請求住民訴訟

- ・ **和歌山地裁裁判**  
裁判は、7月9日に行われました。相手方から主張書面が提出されました。次回、9月27日午前10時30分からです。
- ・ **大阪高裁裁判**  
控訴審裁判が、5月29日に行われました。引き続き相手方から主張がなされる予定です。次回、9月3日午前10時30分からです。



## 次回会員会議のご案内

日時 7月24日(水)午後6時 ~  
場所 和歌山合同法律事務所・会議室

こぞってご参加下さい